

第1回 六角川水系流域治水協議会 議事概要

1. 概要

本協議会は、令和元年8月洪水と同規模の洪水に対する防災・減災対策を取り組んできましたが、令和3年8月洪水でも浸水等による大規模な水害が発生しました。このような状況を踏まえ今後の六角川における流域全体での取組について議論を行うため、流域首長をはじめ各機関の代表者参加のもと、第5回協議会を佐賀県内水対策プロジェクト(プロジェクトIF)会議と合同で開催し、活発な議論が行われました。

2. 実施状況

- 日時 : 令和3年12月20日(月) 14:00~16:30
- 開催場所 : 武雄河川事務所(直接来場及びWEB参加)
- 参加機関 : 多久市、武雄市、小城市、大町町、江北町、白石町、佐賀地方气象台、九州農政局、九州森林管理局、森林整備センター、佐賀県、武雄河川事務所

4. 議事概要(会議での到達点)

- ①様々な関係者が取り組む流域治水対策を一元的に集約した「**新・六角川流域治水プロジェクト**」を**年度末までに取りまとめる**ことで合意。
- ②流域治水に関する取組は、まちづくりと一体不可分であり、市町の意向が極めて重要であることから、首長より“**各地域のあるべき姿**”や“**取り組み方針**”などの**発言内容を相互確認**。
- ③**今後、意向を尊重した議論やとりまとめを進める**とともに、先ずは関係者それぞれが**緊急的な対策に取り組むことを確認**。
- ④流域対策を進めていくための支援策の一つである**特定都市河川浸水被害対策法**について**内容を確認**。

5. 主な意見・コメント等

- 六角川水系は全国に例を見ない浸水対策が難しい河川との認識のもと国・県・市町・関係機関が連携すべき。
- 激特事業完了後でも床上浸水が残るという令和3年8月洪水の浸水戸数シミュレーション結果を重く受け止めた対策を講じていくべき。
- 床上浸水ゼロを目指していくには、流域の関係者が一体となって取り組むことが重要。
- 今後取りまとめるプロジェクトは、長期計画を見据えたうえで短期・中期の計画を立てるべき。

3. 議事内容

- 1) 規約の改定
- 2) 令和3年8月洪水を踏まえた今後の対応について
 - ①令和3年8月豪雨について
 - ②今後の進め方について
 - ③目指す方向性に関する議論及び取組や対策
- 3) 特定都市河川について
- 4) その他

会議の開催状況

